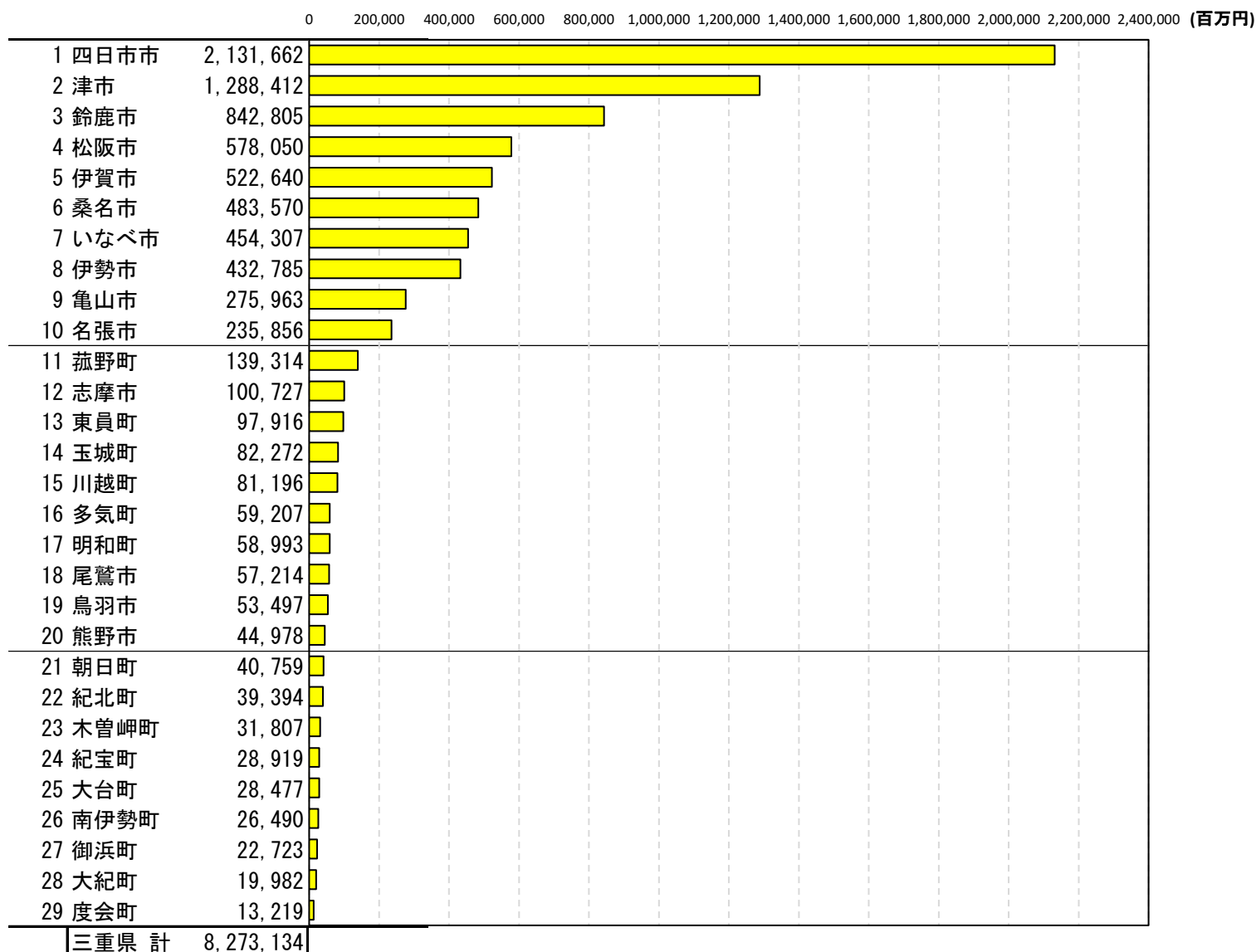


I 市町別にみた令和2年度市町民経済計算の概況

1 市町内総生産

市町内総生産は、四日市市が2兆1,317億円で最も高く、次いで津市(1兆2,884億円)、鈴鹿市(8,428億円)、松阪市(5,781億円)、伊賀市(5,226億円)の順となりました。上位3市の総生産合計は、県内総生産の51.5%を占め、1位から3位までの順位は比較可能な平成23年度以降、10年間同じとなっています。

(図表4) 市町内総生産



(図表5) 過去5年間の市町内総生産上位10市町

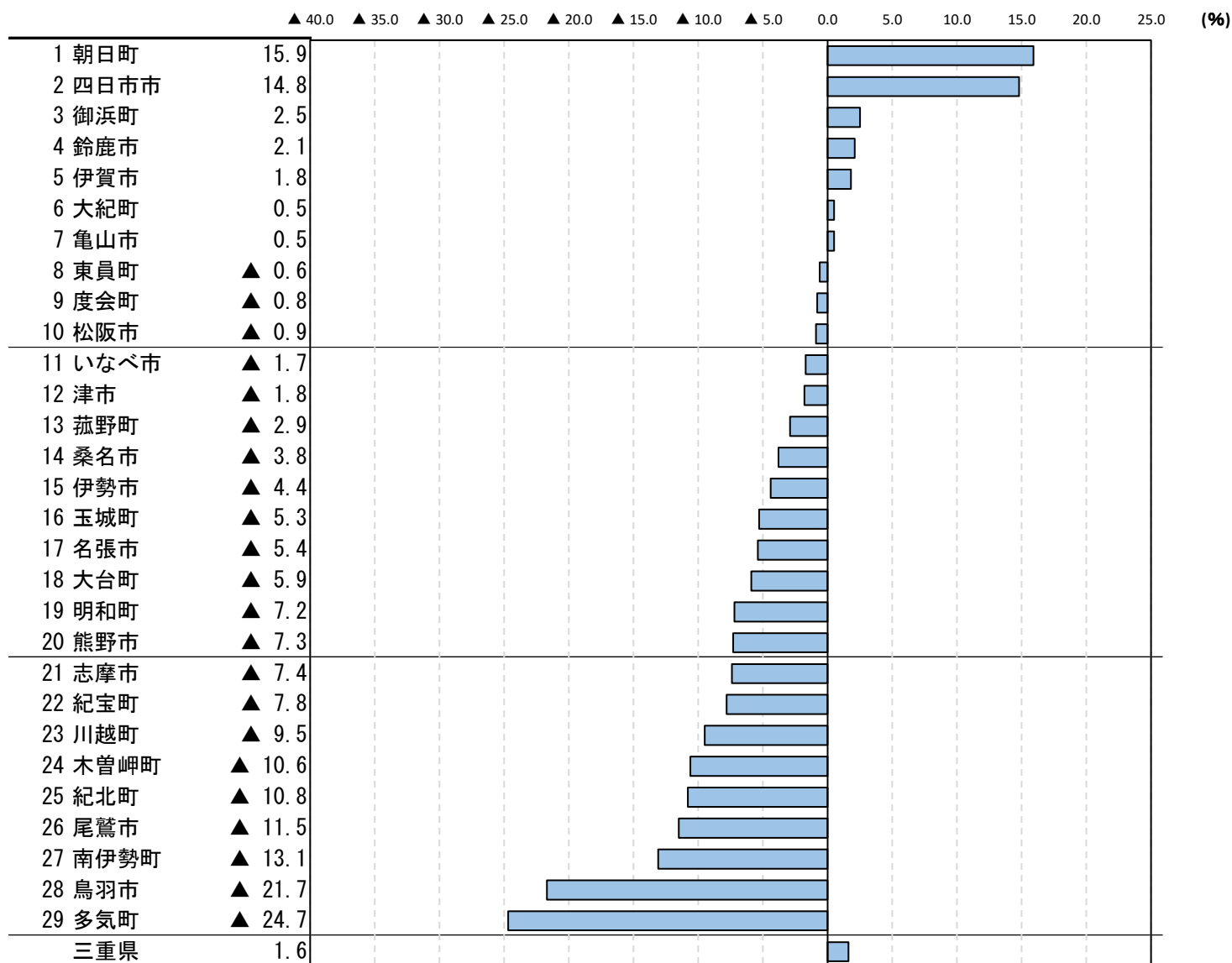
(単位：百万円)

順位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1	四日市市 1,903,322	四日市市 1,918,418	四日市市 2,182,275	四日市市 2,182,980	四日市市 1,856,847
2	津市 1,234,729	津市 1,244,865	津市 1,306,209	津市 1,335,410	津市 1,311,923
3	鈴鹿市 883,223	鈴鹿市 924,307	鈴鹿市 798,755	鈴鹿市 819,491	鈴鹿市 825,287
4	桑名市 543,481	松阪市 539,570	松阪市 578,423	松阪市 593,754	松阪市 583,378
5	松阪市 538,620	桑名市 519,963	桑名市 552,349	伊賀市 529,366	伊賀市 513,209
6	伊賀市 478,448	伊賀市 494,665	伊賀市 520,677	桑名市 518,848	桑名市 502,837
7	伊勢市 458,978	伊勢市 439,025	伊勢市 454,534	いなべ市 496,565	いなべ市 461,939
8	いなべ市 395,771	いなべ市 417,830	いなべ市 452,107	伊勢市 453,569	伊勢市 452,598
9	名張市 251,925	亀山市 300,424	亀山市 294,828	亀山市 275,858	亀山市 274,567
10	亀山市 231,829	名張市 254,330	名張市 267,654	名張市 267,382	名張市 249,344

2 対前年度増加率

市町内総生産の対前年度増加率をみると、朝日町が15.9%増と最も大きく、次いで四日市市が14.8%増、御浜町が2.5%増、鈴鹿市が2.1%増、伊賀市が1.8%増など7市町で増加となりました。一方で、多気町が24.7%減、鳥羽市が21.7%減、南伊勢町が13.1%減、尾鷲市が11.5%減、紀北町が10.8%減など22市町で減少となりました。

(図表6) 対前年度増加率



(図表7) 過去5年間の市町内総生産の対前年度増加率上位10位

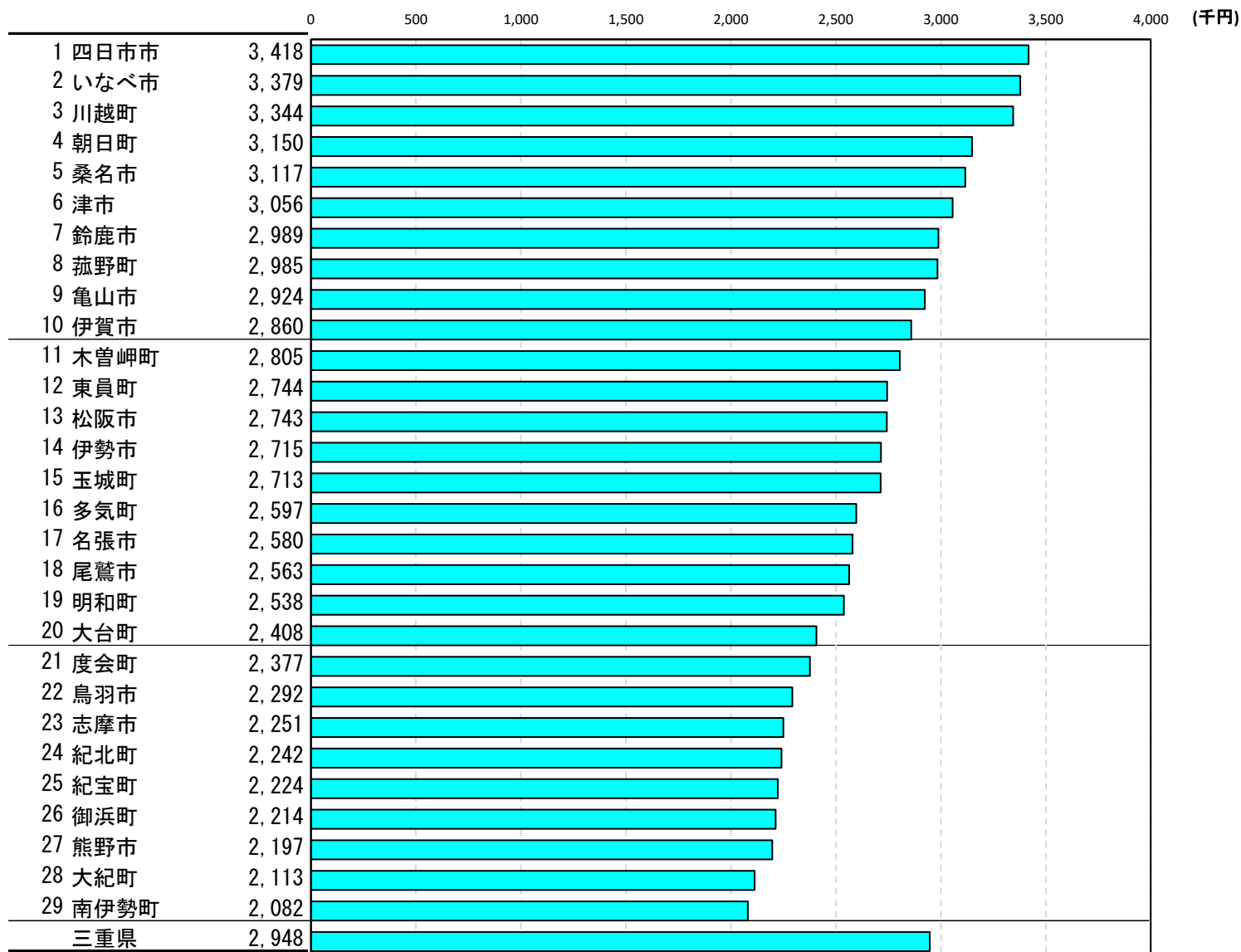
(単位：%)

順位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1	亀山市 41.0	多気町 63.5	朝日町 15.0	いなべ市 9.8	紀宝町 15.2
2	多気町 27.1	亀山市 29.6	四日市市 13.8	東員町 7.4	大紀町 13.6
3	川越町 21.6	朝日町 19.3	いなべ市 8.2	木曾岬町 4.3	御浜町 13.6
4	菰野町 16.3	菰野町 7.2	明和町 7.7	多気町 4.2	尾鷲市 7.3
5	いなべ市 10.4	いなべ市 5.6	松阪市 7.2	菰野町 3.4	大台町 6.0
6	木曾岬町 9.1	鈴鹿市 4.7	桑名市 6.2	玉城町 3.0	度会町 4.1
7	鈴鹿市 9.0	伊賀市 3.4	木曾岬町 5.7	松阪市 2.7	玉城町 3.0
8	東員町 7.3	熊野市 3.2	度会町 5.3	鈴鹿市 2.6	明和町 2.5
9	伊勢市 5.5	明和町 2.5	伊賀市 5.3	津市 2.2	熊野市 2.2
10	明和町 5.5	南伊勢町 1.6	名張市 5.2	伊賀市 1.7	紀北町 1.8

3 一人当たり市町民所得

一人当たり市町民所得をみると、四日市市が341万8千円で最も高く、次いでいなべ市(337万9千円)、川越町(334万4千円)、朝日町(315万円)、桑名市(311万7千円)の順となりました。以下、津市、鈴鹿市、菰野町までの8市町の一人当たり市町民所得が、一人当たり県民所得(294万8千円)を上回りました。

(図表8) 一人当たり市町民所得(千円)



※本書において、一人当たり市町民所得は、企業の所得などを含んだ市町民経済全体の所得水準を含んだものであり、住民個人の所得や賃金水準を表すものではありません。

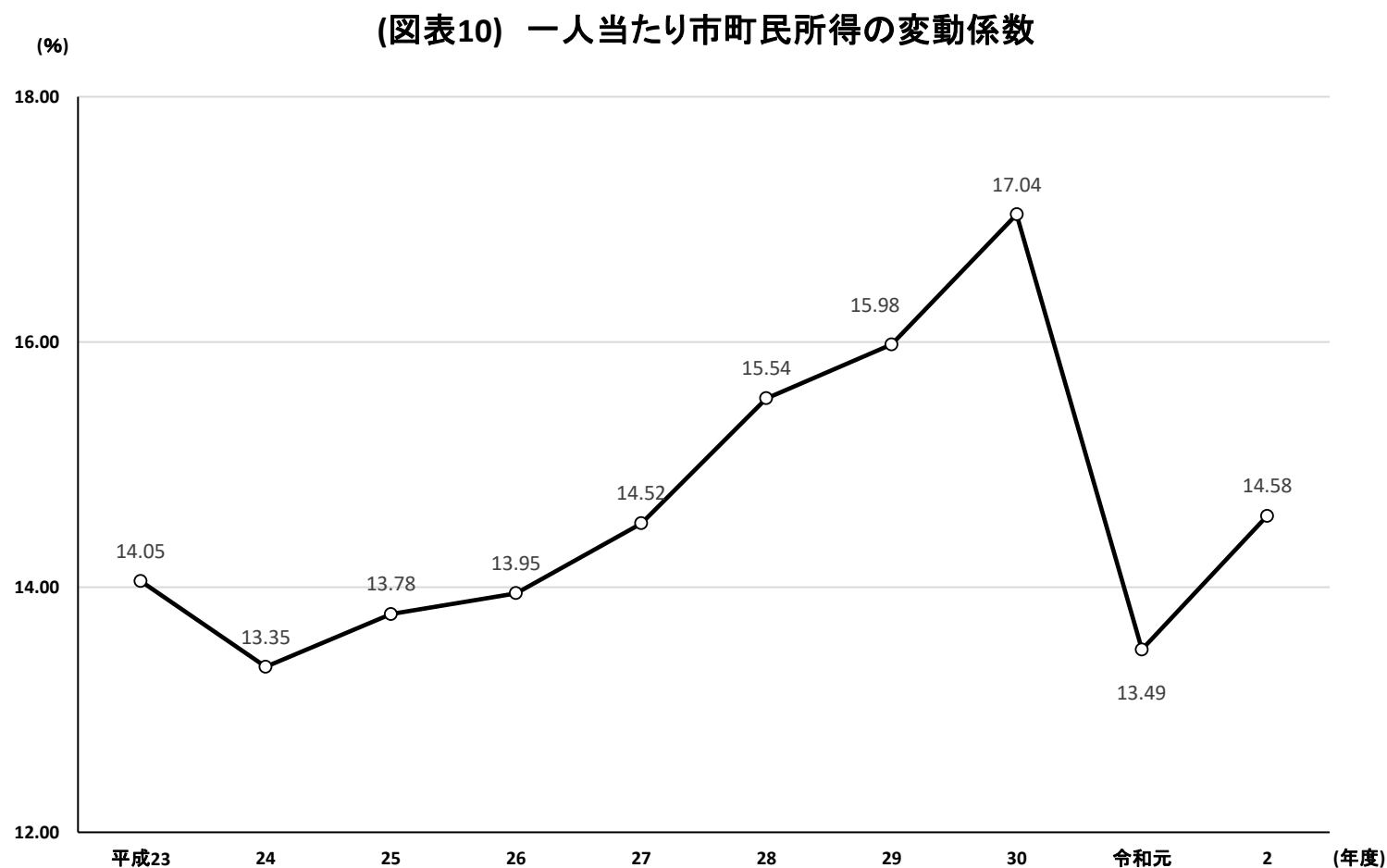
(図表9) 過去5年間の一人当たり市町民所得上位10市町

(単位：千円)

順位	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
1	川越町	3,729	川越町	3,774	川越町	3,907	いなべ市	4,007	川越町	3,510
2	四日市市	3,349	いなべ市	3,649	いなべ市	3,833	川越町	3,834	四日市市	3,368
3	いなべ市	3,305	四日市市	3,480	四日市市	3,715	四日市市	3,755	桑名市	3,206
4	桑名市	3,169	朝日町	3,244	朝日町	3,444	朝日町	3,473	津市	3,172
5	津市	3,107	桑名市	3,204	桑名市	3,358	桑名市	3,341	いなべ市	3,172
6	朝日町	3,073	津市	3,174	津市	3,318	津市	3,316	朝日町	3,163
7	菰野町	2,989	亀山市	3,123	亀山市	3,269	伊賀市	3,293	菰野町	3,034
8	木曾岬町	2,975	菰野町	3,110	伊賀市	3,254	菰野町	3,255	鈴鹿市	3,027
9	鈴鹿市	2,965	鈴鹿市	3,102	菰野町	3,222	亀山市	3,231	伊賀市	2,942
10	伊賀市	2,948	伊賀市	3,096	鈴鹿市	3,181	鈴鹿市	3,214	亀山市	2,907

4 一人当たり市町民所得の変動係数

一人当たり市町民所得の市町間におけるバラツキを表す変動係数は2年ぶりに増加し、14.58となりました。



※この項において、「変動係数」は、全県に対する市町の開差率を相対的に表しています。変動係数は、小さいほど一人当たり市町民所得の市町間におけるバラツキが小さいことを表し、逆に、大きいほどバラツキが大きいことを表しています。

$$\text{「変動係数」} = \text{「市町の一人当たり所得の標準偏差」} \div \text{「市町の一人当たり所得の平均値」} \times 100$$